網いけすを設置

クルマエビを中間育成

歩留まり向上へ

毎年クルマエビの放流を続けている新潟市漁協（柳下正組合長）では、稚エビを中間育成する網いけすを六月十五、十六の両日、関屋浜と日和山の沖六十㍍の海面にそれぞれ二コずつ設置しました。十八日には、山口県からトラックで直送された稚エビ十一万匹をいけすの中に放ちました。

網いけすの設置（日和山）

市・県の補助を得て設置され たナイロン製のいけすは四コで百二十五万円。縦五㍍、横五㍍、深さが一・五㍍から三㍍といろいろ。ブイを付けて浮かし、四方をアンカーで動かないよう固定してあります。

昨年までは、稚エビを直接放流していましたが、他の魚に食われたり、死んだりして放流数の一㌫しか捕獲できないといわれ、歩留まりは余りよくありませんでした。そのため、二㌢ほどの稚エビをいけすの中で二、三週間ほど飼養させて体力をつけさせてやると四㌢ほどに成長します。

中間育成されたエビは魚に食べられる率も少なく、一年後親エビになる確率は飛躍的に向上するものと市漁協では期待しています。

いけすの設置は、新潟では初めてですが、岩船とか寺泊などの離岸堤（テトラポット）のない所で行い失敗した経験があります。関屋浜、日和山とも離岸堤で囲まれ、プールのようになっていて、いけすの設置には最高の場所といえます。

水族館に赤ちゃんペンギン誕生

7月上旬から仲間入り

水族館の人気者フンボルトペンギンに二羽の赤ちゃんが生まれ、元気に育っています。七月上旬からかわいい姿をお見せします。

水族館には五十二年八月、南米ペルーのリマから十二羽のフンボルトペンギンがやってきました。このうち三羽が死亡、残りの九羽から四組のカップルができ、赤ちゃん誕生となりました。

今年は二組のカップルから二個ずつ計四個の卵が生まれ、このうち四月二十七日と五月十九日にヒナがかえりました。

ペンギンの場合、巣立ちをするまで約七十日かかりますが、その期間は親ペンギンがかわるがわる赤ちゃんペンギンの傍について、すべての世話をします。今水族館でも、二組の親ペンギンが、巣の中でしっかりと赤ちゃんペンギンを守っているそうで、赤ちゃんペンギンが姿を見せるのは、七月上旬になる予定です。

ペンギンの世界では〝一人前〟になるまで約三年、寿命は十数年と言われています。水族館では「二十羽ぐらいまで増やしたい」と意欲満々です。

巣の中の親ペンギン（右）と赤ちゃんペンギン（左）

教育センターで勉強

ハルピンから語学研修生来港

友好都市ハルピンから、市民交流の第二弾として語学研修生がこのほど新潟市にやってきました。

今回来日したのは曲奇君（二十七歳）。ハルピン市役所に勤務する公務員です。

曲君は市内の家庭に下宿しながら、市の総合教育センターで一年間日本語を勉強することになっています。これから一カ月は、日本の生活に慣れてもらい、その間に、彼の日本語の能力を調査し、それに合ったカリキュラムを教育センターでは編成することにしています。

また、語学研修の合間を見て、市役所で行政の勉強をしたり、公民館の中国語講座のアシスタントや、高校のクラブ活動にも参加して、新潟の若者との交流を図ってもらいます。

日本語を勉強してまだ二カ月という曲君は「日本語の勉強はもちろん、日本の生活を知りたい。中国に帰ったら日本語の通訳をやりたい」と、とても二カ月とは思われないうまい日本語で語ってくれました。

来年四月には、市から語学研修生をハルピンに派遣する予定です。

川上市長と話す曲奇君（左）

国保コーナー

（国民健康保険）

Q アンド A

問　五十五年度保険料納入通知書をもらいましたが、暫定賦課となっています。この暫定賦課とはどういうことですか。

答　保険料は、年額を六期に分けて納めていただくことになっていますが、年度初めの四月の賦課の際にはまだ保険料の計算に必要な五十五年度の市民税額や、五十四年中の所得の確定額がわかりません。かといって、わかるまで保険料を徴収しないということになれば、現行制度上一年分の保険料を半年で納めなければならなくなってしまったりみなさんが病気やけがでお医者さんにかかったとき、国保で負担する医療費の支払いに支障がでてきたりします。

暫定賦課とは

そこで一期から三期までについては、ひとまず五十四年度の市民税額や、五十三年中の確定所得金額をもとに計算し、仮の保険料として半年分の金額をいただくことになります。

そして十月になりますと五十五年度の市民税額と五十四年中の確定所得金額をもとにして一年分の保険料を再計算し（これを確定賦課といいます）そこから暫定賦課によって賦課された金額を引いた残りを四期から六期で納めていただくことになります。

ハウディ（こんにちわ）新潟のみなさん

ガル市からかわいいお客さま

姉妹都市ガルベストン（アメリカ）からも、五人のかわいい親善使節が、県世界青年友の会の招きで、このほど新潟市を訪れました。

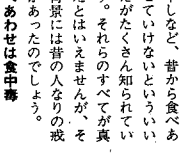
一行は、中学二年のケビン・タイクマン君、中学一年のケリー・タイクマンさんの兄弟、高校一年のキャサリン・バンダブールさんとカリン・リッツマンさん、それに、高校三年のドンナ・チルドレスさんの五人。

六月七日から二十八日までの間、市内の家庭に分宿して新潟の家庭生活を体験しました。十一日には川上市長を訪れ、ガルベスト市長からのメッセージと絵などのプレゼントを市長に手渡しました。市長が「新潟を良く見ていってください。どうも、ありがとう」とお礼を言うとケビン君は「どういたしまして」と覚えたての日本語で茶目っ気たっぷりに答えました。

五人は、敬和学園に五日間通学して日本の学生生活も体験。週末には、新潟近郊の豪農めぐりなどを楽しみました。

とっしの豆知識 ⑤

食べあわせは真実？



天ぷらと氷水、ウナギと梅干しなど、昔から食べあわせていけないといわい伝えがたくさん知られています。それらのすべてが真実だとはいえませんが、その背景には昔の人なりの戒めがあったのでしょう。

食べあわせは食中毒

食べあわせというのは、二種類以上の食品を同時に食べたとき、そのひとつの成分とほかの食品との成分が体内で化学反応を起こしてできる有害物による食中毒をいうものと思われます。

昔から知られている食べあわせを整理してみると、サザエやタコのように消化のよくないもの、コイ、ウナギ、天ぷらのように脂肪の多いもの、フグ、サメ、サバ、貝類、カニのように中毒を起こしやすいものなどの食品が多いようです。ほかに、冷えたものを食べることの戒めなども知られています。

よい食べあわせ

例えば、大根おろしともち、麦飯にとろろ芋などの場合は、大根やとろろ芋に含まれる酵素がでんぷんの消化を助けているので、よい食べあわせでしょう。また、大根とにんじんのおろしあえは、にんじんの中に大根のビタミンCを分解する物質が含まれていますので、この場合は酢を加えて酸性にすると分解作用がなくなります。

英語弁論大会

日時　7月13日午後1時～4時
会場　県民会館第一会議室
競技方法　5分間スピーチ
対象　どなたでも可
課題　6項目より1項目選択
申し込み・問い合わせ　課題等は7月5日までに新潟英語専門学校（☎24—4606）へ

高齢者名曲レコード友の会会員募集

活動日　月1～2回午前9時半～11時
会場　有明センター体育館
運営方法　毎コンサート終了後、次回の日程、曲目、その他意見交換
レコード　会員持ち寄り
7月例会　7月3日午前9時～（曲目）モーツァルト交響曲第40番他
対象　60歳以上の人
申し込み　有明センター（☎31—3082）へ

なかよしプール7月1日からオープン

開場期間　7月1日～8月31日（8月13・14・22・23日と雨天の場合休み）
時間　9時～午後4時半
場所　一番堀通3—1（市体育館裏）
入場できる人　8歳未満で16歳以上の付添人のある幼児・付添人
入場料　幼児20円、付添人30円

早朝テニス

開放日時　7月1日～9月30日の午前6時～8時（日曜、祭日、大会当日は除く）
場所　白山庭球場
対象　社会人
使用料　1面1時間当り100円
申し込み　直接庭球場で受け付け（先着順）

プール開館時間を変更

鳥屋野総合体育館屋内プールと西海岸公園市営プールでは、7月21日から8月20日までつぎのとおり開館時間を変更します。なお、7月1日から8月31日まで夏期料金になります。

開館日　平日　午前10時～午後7時、日曜日　午前10時～午後5時
※ただし、鳥屋野屋内プールは、8月4日午前10時から正午まで休みます。
休館日　鳥屋野プール…毎週木曜日、西海岸プール…毎週月曜日
夏期料金　大人…100円、中学生以下…50円
※西海岸プールは、7月1日から8月31日まで屋外プールもオープンします。利用は中学生以上です（ただし小学生以下は大人の同伴があれば利用できます）

体力向上にトレーニングセンターへ！

～市陸上競技場内～

◇7月の新規受付日
男子　9日・16日・25日
女子　4日・11日・18日・30日
当日は簡単な体力測定とセンター利用の方法について説明します。
受付時間　午後4時から6時（15分前に手続きを済ませてください）
使用料　19歳以上1カ月600円、19歳未満1カ月150円（印鑑と運動のできる服装、靴の用意をしてください）
◇トレーニング相談（無料）
個人、会社、団体等の体力相談およびトレーニング指導、体力測定を希望の方はご連絡ください。（☎66—8112）

300人の子供達による バイオリン・セロ音楽祭

（第4回才能教育新潟県大会）

日時　7月6日午後1時45分～
会場　県民会館大ホール
入場料　500円
問い合わせ　電話で田沢（☎22—6031）へ